

令和7年度 術後疼痛管理チーム PDCAサイクル



①術後疼痛回診の実施

患者の術前・術中・術後の状態をアセスメントし、術後3日間の鎮痛方法や薬剤の調整を行う。また病棟と連携し、情報共有を行いながら疼痛管理を行う。

②病棟における術後疼痛に関する勉強会開催

病棟に対し、術後疼痛管理についての勉強会を実施し、アンケートにて周知状況や今後の活用など確認。

③術後疼痛管理チームの増員

術後疼痛管理に関する特定の研修を受けた薬剤師・看護師を増員し、チーム力の強化を図る

Plan



①毎日術後疼痛回診を実施

4～11月

介入患者数183名、553件(5診療科)。介入者平均年齢71.3歳
対象以外の相談件数など

②2病棟への勉強会実施

③5月に看護師2名が資格取得した。さらに薬剤師1名、看護師1名が現在資格取得に向け研修中であり、年度内に取得完了予定である

Do



①術後疼痛管理と安楽な療養生活、離床・回復への支援

・術後疼痛回診・・・薬剤を調整することで、不快症状の緩和や生活の質の維持・向上を図り、また術後の困り事への相談等、心身共にケアを行う

・他の鎮痛剤の併用頻度に関する調査

②病棟、院内への周知活動や勉強会内容の検討

・勉強会等を通して、術後疼痛管理チームの活動の周知を図る。また勉強会での講義内容(多角的鎮痛法やERAS等)をチーム内で検討し、病棟における効果的な離床支援を促す

③今後の取得予定者

・R8年度上半期に薬剤師1名、看護師1名が資格取得予定

Action



Check

①術後疼痛管理チームの活動 2025年4月～2026年3月

介入患者数:261人、788件 平均年齢71.6歳

診療科:外科68.2%、整形外科15.3%、呼吸器外科13.4%、心外2.7%、婦人科0.4%

鎮痛方法 持続硬膜外ブロック 62.5% フェンタニル持続注射 18.8%

持続腕神経叢ブロック 15.3% IV-PCA(塩モヒ使用) 2.7%

★NRS等データ分析結果 (外科を対象に評価)※術後3日間を評価

硬膜外麻酔:安静時9割以上、体動時6割以上の患者が「痛みなし～軽度の痛み」

フェンタニル持続注射:安静時約9割、体動時2割～5割の患者が「痛みなし～軽度の痛み」

★術後疼痛だけでなく、鎮痛剤の合併症(吐き気・かゆみ等)、睡眠状況、ADL、食欲、活動意欲等の生活の質に関する内容やリハビリ状況等も積極的に話を伺い、安楽な療養生活と離床への支援を行った

②2病棟への勉強会を実施 術後疼痛管理チームの活動を伝え、多角的鎮痛法を指導。病棟と本チームとの情報共有や不快症状の緩和・離床支援の必要性を伝達

③術後疼痛管理チーム増員

目標としていた薬剤師1名、看護師1名の取得は日程が合わずできなかった

計画的に日程調整を図り、資格取得を行うことで、今後の勉強会開催や相談対応等のチーム活動の充実に図る